

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月15日

事業所チャイルドケア エイトぱれっと

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|---|----|--|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 支援内容に応じて指導室を分けたりして対応しています。 | 住や段差等が多く、利用児童が多い日は狭くなりがちですが、職員が日々、ケガや衝突に注意を払っています。引き続きしっかりと見ていくように致します。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | 現状職員で配置するよう努力しております | 人手が足りない時があるので、もう少し余裕があれば助かります。との声もあがりました。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 児童の年齢や発達に合わせて指導室を分けたり、段差は必ず手を添えています。角にはコーナガードを多くつけました。 | 事業所の造り上、段差や角があり、可能な限り安全対策は少しづつ増やしてきていますし、児童が過ごしやすい様に工夫していますが、まだ足りない所もあると思いますので、出来る限り善処していくように致します。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 刺激を与えず、落ち着いた過ごせる様な環境作りをしています。 | トイレが1つしか無いのでとの意見が多くみられましたので、誘導の方法など、再度検討したいと思います。もう少し子供達を外でのびのび遊ばせてあげたいとの意見もあり、今、少しでもお天気が良い時には砂場遊びを多く取り入れるようにしております。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 毎日、1日2回のミーティングでの振り返り等を行い、リーダーなどは個別で支援や方向性などの話し、職員に対して共通認識を持ち取り組める様対応しています。 | 引き続き職員全てが意識をもって考え、取り組めるよう努力してまいります。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 1年に一度ですが、職員自己評価と共に、保護者様にも評価表を無記名式でお渡し、ご協力をお願いさせて頂くと共に、ご意見に対しては真摯に受け止め改善に努めさせて頂いております。 | こちらも継続して行って参ります。いつもご協力、感謝しております。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ホームページにて公表させて頂いております。 | 今後も継続して行って参ります。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | | 第三者とは、どこまでを指すのかという事の理解が難しいとの事もありましたので、第三者委員会などについても検討していける様、検討していきます。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 前年度より、人事部、総務部にて、各研修を実施していただくようになりました。 | 研修は開催されたが、どの程度資質向上につながったのかが不明瞭。今行われている研修以外に指導の技術向上の為や、児童への対応を向上させる為の研修等も行って欲しい。外部講師を招いていただいたり、外部研修などに参加したい。など、前向きな意見が多くみられましたので、本部等とも協議させて頂き、なるべく職員の考えに添えるよう努めていけたらと思います。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 行っていると認識しております。 | 職員全員で意見交換等もしっかり行いながら、これからも計画作成に努めて参ります。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 現状は、口頭で説明するようになっております。 | アセスメントツールが職員全体で共有されていない所があるので、善処していけるよう努めて参ります。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 各職員が、児童発達支援ガイドラインを各自で閱讀し、理解しているものと思います。 | 具体的な支援内容の選択、設定となりますと、しっかりととられていなかったかもしれません。今後、改めてガイドライン項目からきちんと支援内容の必要とされる所を皆で精査し話し合う機会を作って日々の支援に生かしていけるように致します。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 支援計画に基づいて職員全体で情報共有しながら支援に取り組んでいます。 | 引き続き職員全てが意識をもって考え、取り組めるよう努力してまいります。 |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 支援リーダーを配置させていただき、全体で話し合った事をリーダーが取りまとめながらさせて頂いております。 | 職員全体で、各々の支援計画に沿った支援をさせていただける様、これからも取り組んで参ります。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 季節に応じたものを取り入れたり、活動が一定のものにならない様、常に職員が計画を立てております。 | これまで以上に取り組んでいけるよう、職員全体で頑張って参ります。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 成長度、支援内容に応じて、その都度、職員間で打ち合わせを行い、個々のお子様にあった支援方法を取り入れていくようにしております。 | 引き続き職員全てが意識をもって考え、日々の支援に取り組んでいくよう努力してまいります。 |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 毎日、朝礼で1日の流れを確認しあい、記録をして、全職員で共通認識を持ち支援に取り組むようにしております。 | こちらも継続して行って参ります。 |
| 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 毎日終礼を行い、1日の振り返り、今後の支援についての話し合いを全員で行い、欠席職員にも伝わるよう、記録を残すようにしております。 | こちらも継続して行って参ります。 | |

| | | | | | | |
|--------------|--------------------------------------|--|---|------------------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 上記記載(17, 18)の通り、徹底して行っております。 | 継続して行っております。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | モニタリング時期には、全職員より聞き取りを画面にて行い、見直し等、適切に行っております。 | こちらも継続して行っております。 |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 適切に行っております。 | 継続して行っております。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 保健センター、各幼稚園や保育園の担当職員の方と情報共有等に努めております。 | 継続して行っております。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | その日に送迎に関わった職員が、児童引き渡し時に、各先生方や保護者の方と、その日のご様子などをお話させて頂いております。 | 送迎時にお話しさせて頂くことが多く、詳しいところまでの共有、相互理解という形では出来ない所もあると思われまので、今後、きちんとした形で担当者会議等を行っている様、善処していけたらと思います。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | できるだけ多くの方とお話がさせて頂ければと思っております。 | こちらも、全卒園予定児童に対して出来ているかといえ、徹底までには至っていないと思っておりますので、今後、積極的に取り組んでいける様、改善していける様、努力していきたいと思っております。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 当法人の中の、別事業所間では、色々話をさせて頂きたくしております。 | 申し訳ございません。各専門機関と連携し、助言、研修をうけさせて頂くという所には至っておりませんでした。今後、手続き等も踏まえ、させて頂きたく思いますよう考えてまいります。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | 本年度は、市民交流センター、青年の家等、地域の施設を利用させて頂きたく事を積極的に進めてまいりました。 | 幼稚園、保育園等との交流については、感染症等も考慮する必要がありました。園外活動を多く取り入れる事は行ってききましたが、それでも、あまり他児童との関わりについては、あまり無かったように思います。今後、機会があれば、そういった機会も設けられればと考えます。 |
| 保護者への説明責任等 | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 個別に職員が、参加しているよう思います。 | こちらも申し訳ございません。なかなか事業所として積極的に参加させて頂く所には至っておりませんでした。今後、善処していければと思います。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 連絡帳でのこまめなやり取りや定期的に面談を行わせて頂いて、連携を図らせて頂いております。 | 継続して行っております。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 面談等のなかで、なるべく行わせて頂くよう努めております。 | 当事業所には、公認心理師がおりますので、今後、そういった所も踏まえた所での家族支援プログラム等についても考えていきたいと思っております。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 初期契約時に、きちんと説明させて頂いております。 | 継続して行っております。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 定期的に支援内容について話し合いをさせて頂きながら、都度計画書を作成し、説明させて頂き、ご理解、同意を頂いた中で、ご署名をいただくようしております。 | こちらも継続して行っております。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 定期的に面談を行わせて頂いた時や、送迎時などにご相談いただいた時には職員が対応させて頂いております。 | 引き続き継続して行っておりますが、今後必要に応じて、時には専門職員等を交えてお話をさせて頂くなども考えていけたらと思います。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 父母会は無いのですが、保護者会につきましては開催させて頂き、その中で、保護者様同士でお話をするお時間を取らせて頂くようしております。 | 保護者会につきましては、今後もっと開催を定期的にごさせて頂くようご検討と考えております。あと、保護者様参加型の行事も、もっと行っていければと考えております。その中で保護者様同士の連携にもっと発展させていければと考えております。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | (34)同様、対応させて頂いております。 | こちらも(34)同様、継続して行っております。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 月毎に、お子様の様子や活動内容をおたよりにて配布させて頂き、定期的にホームページでもお写真にて活動の様子を見て頂けるようしております。 | 継続して行っております。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 各職員、周知徹底しております。 | こちらも継続して行っております。 |
| 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 日々の業務の中で行っております。 | 引き続き行っております。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|---|
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 地域の施設等に出かけるなどは行っています。 | 行事にご招待させて頂くなどの取り組みには至っていない所です。今後、感染症対策などに留意しながら、どこかの機会ですういう所も考えていきたいと思っています。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 各マニュアルの作成を行い、各職員にて周知するようにしております。 | 訓練等に関しましては、防災、避難訓練は定期的に児童も含めて実施しておりますが、感染症発生時の対応、訓練に関しましては不十分な所です。今後、きちんと見直しを図ってきたいと思います。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 児童も含め、定期的に発生状況なども考えながら行っております。 | 継続して行って参ります。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 服薬状況、予防接種状況、持病等、お電話、連絡帳、面談時に確認させて頂き、職員で共有しております。 | こちらも継続して行って参ります。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 契約時にもまず確認を行い、その後、都度変更等があった時にも、連絡帳、面談等にて確認を行い、診断書等の内容も事業所にて確認し、職員と共有、対応しております。 | 引き続き行って参ります。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 共有、確認、周知徹底を行っております。 | こちらも引き続き行って参ります。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待防止についての職員研修は行っております。 | 研修は実施しておりますが、職員ごとの共通認識という少し深い所までもっと対応が出来るようにしていけたらと思います。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 事前に計画書、運営規定等にて記載をさせて頂いております。 | 保護者様に身体拘束について、説明、了承頂くというパターンが今の所、事例が無いので、今後発生した場合には厳正な対応を行って参ります。 |